

# 庶務

## 総社市消防の概要 《一目統計》

H18. 4. 1

◎ 管 轄	総社市
◎ 人 口	68, 011 人
◎ 世 帯	23, 303 世帯
◎ 面 積	212. 00 km <sup>2</sup>
◎ 消防予算	1, 017, 105 千円(17年度)
◎ 機 構	1本部(3課), 1署, 2出張所
◎ 職 員 数	106人(実員)
◎ 団 員 数	1, 002人(内女性19人)(実員)
◎ 消防水利	消火栓 1, 148 基 防火水槽 320 基
◎ 火災件数	50件 (H17年中)
◎ 救急出動件数	2, 885件 (H17年中)
◎ 救助出動件数	56件 (H17年中)

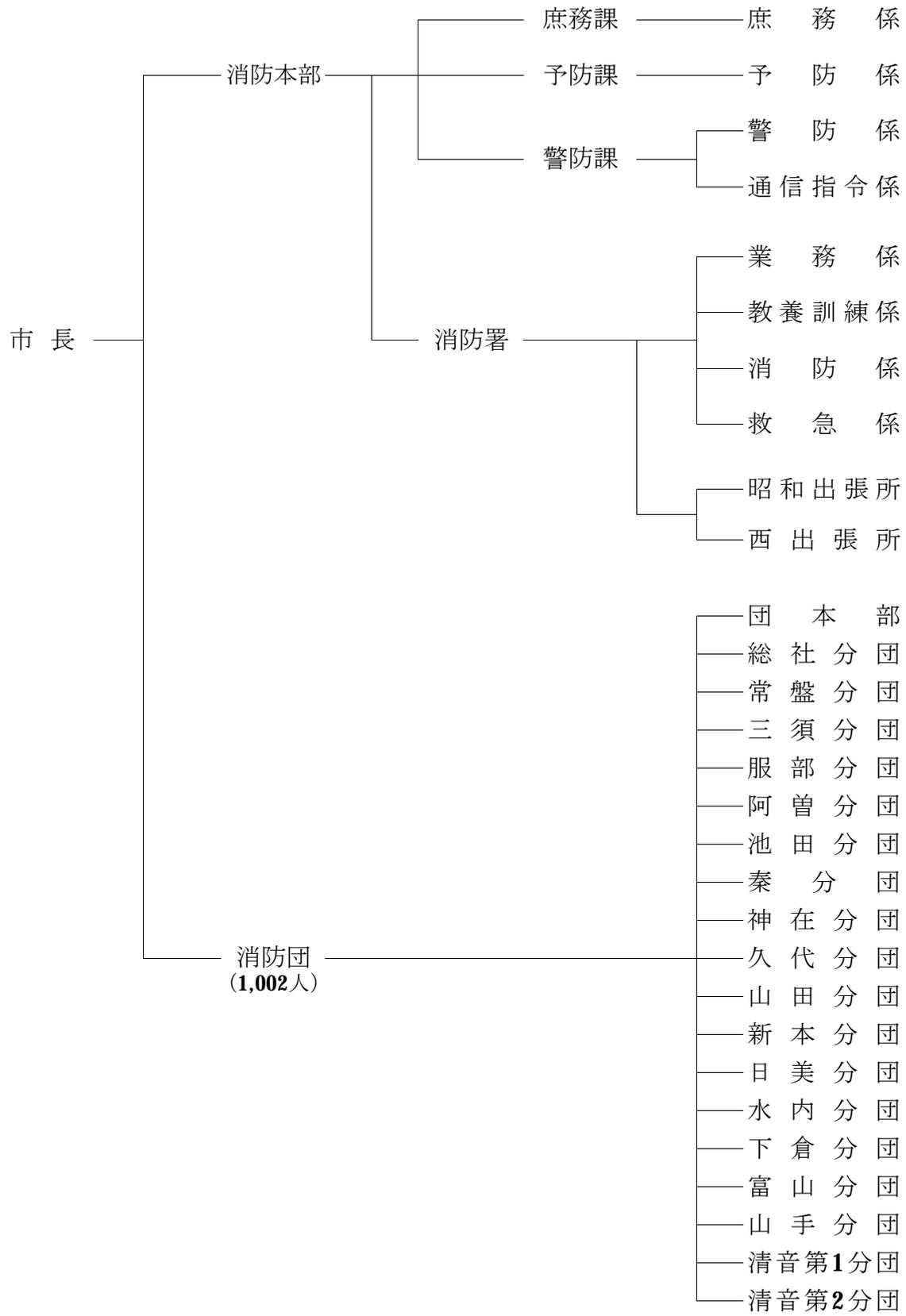
# 管轄区域内地区別世帯数・人口・面積

H18.4.1

地区 / 区分	世帯数	人口	面積 (km <sup>2</sup> )	備考
合計	23,303	68,011	212.00	
住居表示地区	3,326	7,908		
総社	5,798	16,378		M29.2.26町制 S29.3.31 市制
常盤	3,104	8,591		S29.3.31 総社町と合併
三須	1008	3,161		S29.3.1 //
服部	677	2,096		S26.4.1 //
阿曾	946	2,973		S29.3.31 //
池田	525	1,618		// //
秦	642	2,162		S29.3.1 //
神在	699	2,377		S26.4.1 //
久代	1,208	4,024		S29.3.31 //
山田	252	840		// //
新本	557	1,837		// //
日美	643	1,849		] S27.4.1 合併により町制 S47.4.22 総社市と合併
水内	419	1,135		
下倉	257	750		
富山	173	388		
山手	1,206	4,226		H17.3.22 総社市と合併
清音	1,863	5,698		// //

# 1 機 構

平成18年4月1日現在



### (1) 歴代消防長

歴代	氏名	就任期間
1	蜂谷 堅	昭和37年 6月 1日 ~ 昭和37年10月 5日
2	宮本 義亮	昭和37年10月 6日 ~ 昭和39年10月14日
3	小池 祥一	昭和39年10月15日 ~ 昭和42年 4月16日
4	宮本 義亮	昭和42年 4月17日 ~ 昭和45年12月23日
5	多田 五郎	昭和45年12月24日 ~ 昭和49年 1月29日
6	林 徹	昭和49年 1月30日 ~ 昭和49年 7月11日
7	木口 智	昭和49年 7月12日 ~ 昭和50年 3月31日
8	川上 雄一	昭和50年 4月 1日 ~ 昭和51年 3月31日
9	岩佐 信夫	昭和51年 4月 1日 ~ 昭和53年 5月 9日
10	木下 美知夫	昭和53年 5月10日 ~ 昭和55年 3月31日
11	薬師寺 憲	昭和55年 4月 1日 ~ 昭和60年 3月31日
12	高原 道雄	昭和60年 4月 1日 ~ 昭和63年 3月31日
13	小西 英二	昭和63年 4月 1日 ~ 平成 4年 3月31日
14	平田 宗次	平成 4年 4月 1日 ~ 平成 7年 3月31日
15	加藤 琢士	平成 7年 4月 1日 ~ 平成 9年 3月31日
16	秋山 敬三	平成 9年 4月 1日 ~ 平成11年 3月31日
17	秋山 利行	平成11年 4月 1日 ~ 平成13年 3月31日
18	高田 稔	平成13年 4月 1日 ~ 平成16年 3月31日
19	藤岡 徹	平成16年 4月 1日 ~ 平成18年 3月31日
20	塚本 和男	平成18年 4月 1日 ~

### (2) 歴代消防団長

歴代	氏名	就任期間
1	角野 要平	昭和29年 4月 1日 ~ 昭和42年 3月23日
2	松永 弘	昭和42年 5月11日 ~ 昭和48年 3月31日
3	榎枝 利道	昭和48年 4月 1日 ~ 昭和57年 1月12日
4	高見 章郎	昭和57年 2月 4日 ~ 平成13年 3月31日
5	大月 亮	平成13年 4月 1日 ~

## 2 庶務課 事務分掌

### 庶務係

- (1) 公印の管理に関すること。
- (2) 条例, 規則及び規程その他例規に関すること。
- (3) 文書の收受, 発送, 記録の整理及び保存に関すること。
- (4) 消防行政の総合調整及び管理運営の調査研究に関すること。
- (5) 交際及び渉外に関すること。
- (6) 職員の配置, 任免, 分限, 懲戒, 服務及び表彰その他身分に関すること。
- (7) 職員の給与に関すること。
- (8) 職員の勤務及び研修に関すること。
- (9) 職員の公務災害補償に関すること。
- (10) 消防賞じゅつ金に関すること。
- (11) 職員の福利厚生及び健康管理に関すること。
- (12) 消防予算の経理に関すること。
- (13) 物品の購入, 修繕及び出納管理に関すること。
- (14) 消防財産の維持管理に関すること。
- (15) 消防年報の編集及び発行に関すること。
- (16) 儀式及び表彰に関すること。
- (17) 事務引継及び事務報告に関すること。
- (18) 消防団員の任免, 服務及び賞罰その他身分に関すること。
- (19) 消防団員の公務災害及び退職報償に関すること。
- (20) 消防団員の福祉共済に関すること。
- (21) 消防団員の教養訓練の計画に関すること。
- (22) 消防団員の諸手当及び貸与品に関すること。
- (23) 消防団員の表彰の具申に関すること。
- (24) 消防団機械器具の配置に関すること。
- (25) 消防団機械器具の総括, 管理に関すること。
- (26) 消防団車両等の燃料に関すること。
- (27) 消防団との連絡調整に関すること。
- (28) その他消防団に関すること。
- (29) 消防長の特命に関すること。
- (30) 本部の庶務及び本部内の連絡調整に関すること。
- (31) 他の課に属しない事務に関すること。

### 3 消防力の現況

(1) 消防力の基準と現有比較

人口 68,011 人

H18.4.1

区 分	基 準 数	現 有 数	過 不 足	
署 所 の 数	3	3	—	
車 両 関 係	消 防 ポ ン プ 自 動 車	7(2)	—	
	は し ご 自 動 車	1	—	
	化 学 自 動 車	1	—	
	指 揮 車	2	—	
	特 殊 車 等	2	—	
	救 助 工 作 車	1	—	
	救 急 自 動 車	4	6 (2)	—
搭 乗 員 関 係	消 防 ポ ン プ 自 動 車	} 乗り換え運用 81	}	
	は し ご 自 動 車			
	化 学 消 防 自 動 車			
	指 揮 車			
	救 助 工 作 車			15
	救 急 自 動 車			36
	警 防 要 員 計			135
通 信 員	5	6	1	
予 防 要 員	11	8	△ 3	
そ の 他 の 消 防 要 員	11	11	—	
消 防 吏 員 総 数	162	106	△ 56	

( ) は予備車

(2) 現有消防力の負担状況

区 分	人 口	世 帯	面 積 (k m <sup>2</sup> )
	68,011	23,303	212.00
消防職員 1 人当り (106 人)	641.61	219.84	2.00
消防車 1 台当り (5 台)	13,602.20	4,660.60	42.40
救急車 1 台当り (4 台)	17,002.75	5,825.75	53.00

# 4 消防職員

## (1) 配置状況

H18. 4. 1

階 級 区 分		総 数	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
定 員		124	階級別規定なし							
実 員		106	1	12	11	38	20	11	13	
消 防 本 部	消 防 長	1	1							
	次 長	1		1						
	庶務課	課 長	(1)		(1)					
		主 幹	1		1					
		課 長 補 佐	2			2				
		庶 務 係	3(1)			(1)	2		1	
	予防課	課 長	1		1					
		主 幹	1		1					
		課 長 補 佐	1			1				
		予 防 係	5(1)			(1)	3			2
	警防課	課 長	1		1					
		課 長 補 佐	1			1				
		主 幹	1			1				
		警 防 係	1(1)			(1)	1			
		通 信 指 令 係	5				3	1	1	
	小 計		25(4)	1	5(1)	5(3)	9	1	2	2
消 防 署	署 長	1		1						
	副 署 長	4		4						
	主 幹	4			4					
	業 務 係	10				4	4		2	
	教 養 訓 練 係	9				4	1	2	2	
	消 防 係	10				5	3	1	1	
	救 急 係	11(1)			(1)	3	5	1	2	
	昭 和 出 張 所	16		1	1	6	3	3	2	
西 出 張 所	16		1	1	7	3	2	2		
小 計		81(1)		7	6(1)	29	19	9	11	

( ) 内は兼務

## (2) 年齢状況

H18.4.1

階 級 年 齢	総 数	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
総 数	106	1	12	11	38	20	11	13
18 ~ 19	0							
20 ~ 21	1							1
22 ~ 23	1							1
24 ~ 25	4						1	3
26 ~ 27	9						3	6
28 ~ 29	7					2	3	2
30 ~ 31	8					7	1	
32 ~ 33	7					6	1	
34 ~ 35	13				7	5	1	
36 ~ 37	6				5		1	
38 ~ 39	3				3			
40 ~ 41	3				3			
42 ~ 43	2				2			
44 ~ 45	0							
46 ~ 47	0							
48 ~ 49	4			1	3			
50 ~ 51	7			1	6			
52 ~ 53	10		4	4	2			
54 ~ 55	13		3	3	7			
56 ~ 57	5		3	2				
58 歳 以 上	3	1	2					

## (3)勤続状況

H18.4.1

区分	階級	総	消	消	消	消	消	消	消
		数	防	防	防	防	防	防	防
総数		106	1	12	11	38	20	11	13
30年以上		42	1	12	11	18			
25～30		0							
20～25		4				4			
15～20		7				7			
10～15		29				9	17	3	
5～10		11					3	8	
5年未満		13							13

## (4)職員等の表彰状況

区分	年度別	13	14	15	16	17
		職員	消防庁長官表彰	-	-	1
	岡山県知事表彰	-	2	2	1	2
	日本消防協会長表彰	3	-	19	13	6
	岡山県消防協会長表彰	3	4	3	5	3
	全国消防長会会長表彰	4	-	22	15	6
員	全消会中国支部長表彰	1	-	2	-	2
	岡山県市長会長表彰	1	-	-	-	-
	総社市長表彰	4	-	26	20	11
	備中地区消防連絡協議会会長表彰	2	2	2	2	2
一般	岡山県知事表彰	-	-	-	-	-
	日本防火協会長表彰	-	-	-	-	-
	消火協力者表彰(消防長)	7	4	8	1	2

2団体(16)  
個人 2

## (5) 主な教養研修実施状況

種 別	17年度(17.4.1~18.3.31)		延 人 員 (現 職)
	実施回数	人 員	
1 消防大学校			
幹 部 研 修 科	-	-	1
予 防 科	-	-	1
救 急 科	-	-	1
救 助 科	-	-	1
2 岡山県消防学校			
初 任 教 育	1	3	105
幹 部 教 育	1	1	33
警 防 科 警 防 課 程	1	1	17
予 防 科 予 防 課 程	1	1	54
予 防 科 火 災 調 査 課 程	1	1	17
救 急 科 救 急 標 準 課 程	1	3	31
救 急 科 救 急 I 課 程	-	-	50
救 急 科 救 急 II 課 程	-	-	64
救 助 科	1	2	55
は し ご 車 操 作 科	1	2	28
3 救急救命士養成所			
救 急 救 命 九 州 研 修 所	2	2	14
救 急 救 命 東 京 研 修 所	1	1	2
4 各種派遣研修			
救急隊員教育講習会	1	5	87
消防実務講習会	1	2	24
全国救急隊員シンポジウム	1	1	7
日本救急医学会中国四国地方会研修	1	1	9
日本臨床救急医学会研修	1	1	7
救急救命士病院研修(就業前含)	6	14	63
岡山救急医療研究会	1	3	13
消防・救急緊急自動車運転技能者講習	1	1	8
酸素欠乏危険作業主任者技能講習	1	1	7
特定化学物質等作業主任者講習	1	2	8
小型移動式クレーン運転技能講習	1	2	9
玉掛技能講習	1	2	9
可搬消防ポンプ等整備資格者特例講習	1	1	6
消防職員安全衛生研修会	1	1	4
岡山県自治研修所研修	-	-	32
市町村職員中央研修所研修	-	-	1

## (6) 特殊技能資格取得状況

H18. 4. 1

階 級		総 数	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
区 分									
大 型 自 動 車		57		8	5	21	11	6	6
大 型 自 動 車 第 2 種		1				1			
普 通 自 動 車		106	1	12	11	38	20	11	13
大 型 特 殊 自 動 車		6		4		2			
け ん 引 車		1		1					
自 動 二 輪 車		66		12	10	30	6	4	4
2 級 ガソリン 自 動 車 整 備 士		1							1
2 級 ジーゼル 自 動 車 整 備 士		1							1
2 級 二 輪 自 動 車 整 備 士		1							1
危 険 物 取 扱 者	甲 種	1		1					
	乙 種	57		5	6	16	18	6	6
	丙 種	11				5	4	2	
消 防 設 備 士	甲 種	1				1			
	乙 種	9		3		3	2		1
衛 生 管 理 者		5		1	1	2	1		
2 級 ボ イ ラ ー 技 士		2		1			1		
電 気 工 事 士		4				3	1		
小 型 船 舶 操 縦 士		35		2	2	17	8	4	2
1 6 ミリ 映 写 機 操 作 技 士		37		8	8	18	3		
ア マ チ ュ ア 無 線 技 士	第 2 級	1		1					
	第 4 級	18		3	4	10		1	
陸 上 特 殊 無 線 技 士	第 1 級	3		1	1	1			
	第 2 級	104		11	11	38	20	11	13
救 急 救 命 士		15		1	1	6	6		1
応 急 手 当 指 導 員		94		4	8	38	21	10	13
高 圧 ガ ス 製 造 保 安 責 任 者		4				1	3		
高 圧 ガ ス 販 売 主 任 者		1				1			
ガ ス 溶 接 技 能 者		5		2	1				2
フ ォ ー ク リ フ ト 運 転 技 能 者		6				1	3	1	1
玉 掛 技 能 者		12				5	4	3	
ク レ ー ン 運 転 士		13				6	4	2	1
日 赤 水 上 安 全 救 助 員		4		1	1	2			
第 二 種 酸 素 欠 乏 危 険 作 業 主 任 者		7		1	1	5			
特 定 化 学 物 質 作 業 主 任 者		7			1	3	3		
可 搬 消 防 ポ ン プ 等 整 備 資 格 者		6				2	2	2	

## (7) 職員諸手当支給状況

H18.4.1

手当種別	支給範囲	支給単位	金額
火災等出動	火災現場等に出動し、現場作業に従事したとき	1回	400円
救急出動	救急業務に出動し、傷病者の搬送作業に従事したとき	〃	400円 救急救命士670円
夜間業務	当務員が正規の勤務時間として深夜に勤務したとき	1時間当たりの 給与額	100分の25
夜間特殊業務	当務員が深夜に通信勤務・受付勤務等に従事したとき (22時～翌日5時まで)	1勤務 5時間以下 2時間未満	450円 350円 300円
休日勤務	当務員が休日等に勤務したとき	1時間当たりの 給与額	100分の135
時間外勤務	正規の勤務時間以外に勤務することを命ぜられたとき	〃	100分の125 5 100分の160
機械修理員	消防用機械器具の修理及び緊急自動車の運転に従事したとき	1日	350円
高所危険	はしご付消防自動車により地上10メートル以上の高所において防ぎょ活動等に従事したとき	1回	350円
保健予防	感染症の傷病者に対して救護等に従事したとき	1回	550円
危険物取扱	危険物の取扱いに従事したとき	1月	3,300円
高圧ガス製造 保安責任者	空気呼吸器ボンベに使用する高圧ガス製造に係る保安業務に従事したとき	1月	3,300円

## 5 消防予算

### (1) 管内市町村の一般会計と消防予算

17年度(千円)

		総社市	真備町	計
一 般 会 計		<b>22,200,000</b>	<b>6,836,383</b>	<b>30,436,383</b>
消 防 費 関 係	常 備 消 防 費	<b>894,312</b>	-	<b>930,792</b>
	非 常 備 消 防 費	<b>64,805</b>	<b>29,174</b>	<b>93,979</b>
	消 防 施 設 費	<b>28,655</b>	<b>4,206</b>	<b>32,861</b>
	災 害 対 策 費	<b>6,575</b>	<b>3,434</b>	<b>10,009</b>
	広 域 消 防 委 託 費	-	<b>288,664</b>	<b>288,664</b>
	小 計	<b>994,347</b>	<b>325,478</b>	<b>1,319,825</b>
	一般会計との比率(%)	<b>4.5</b>	<b>4.8</b>	<b>4.3</b>
	基 準 財 政 需 要 額	<b>854,172</b>	<b>320,738</b>	-
	住民一人当り消防費(円)	<b>14,620</b>	<b>13,875</b>	<b>14,248</b>

### (2) 平成17年度主要事業(総社市)

- ・ 防火水槽40m<sup>3</sup>級新設 (防災基盤整備事業) **1基** **4,148千円**
- ・ 小型動力ポンプ(岡山県補助及び石油貯蔵立地対策交付金事業)  
**4台** **4,303千円**
- ・ 小型動力ポンプ積載車(石油貯蔵立地対策交付金事業) **2台** **5,429千円**